

日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.27)(2024.8.19)

《競争力、想定為替、米国景気》

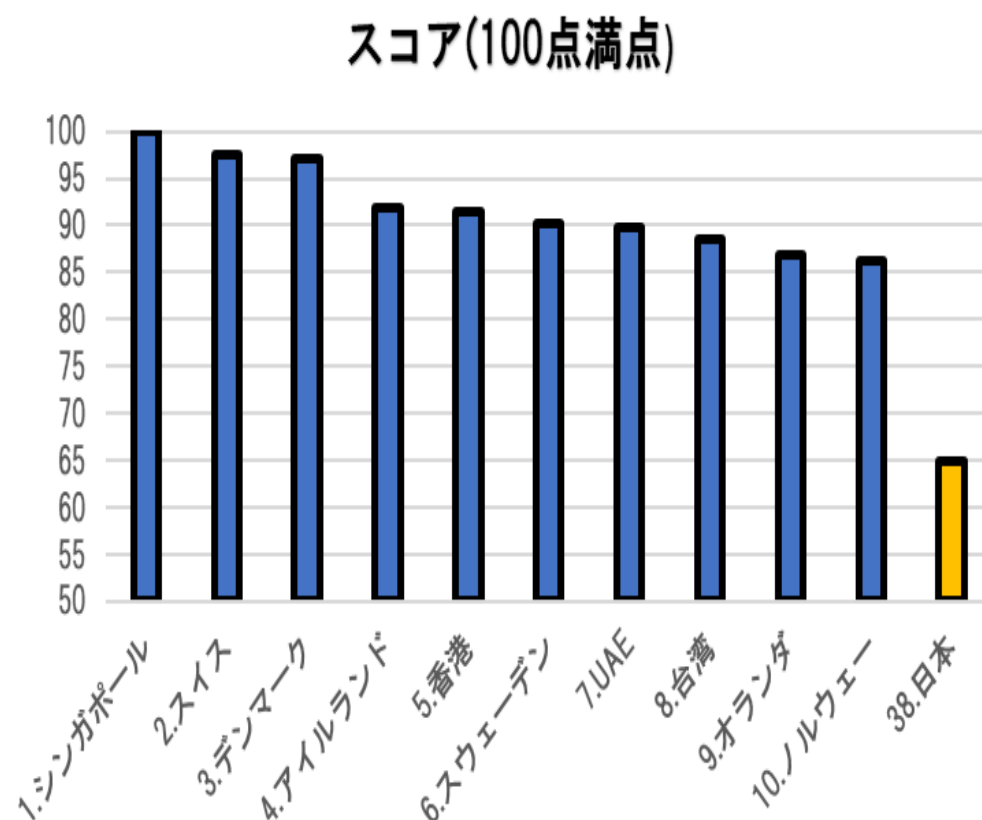
日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

ご質問・さらに知りたい方は、
QRコードからご連絡ください



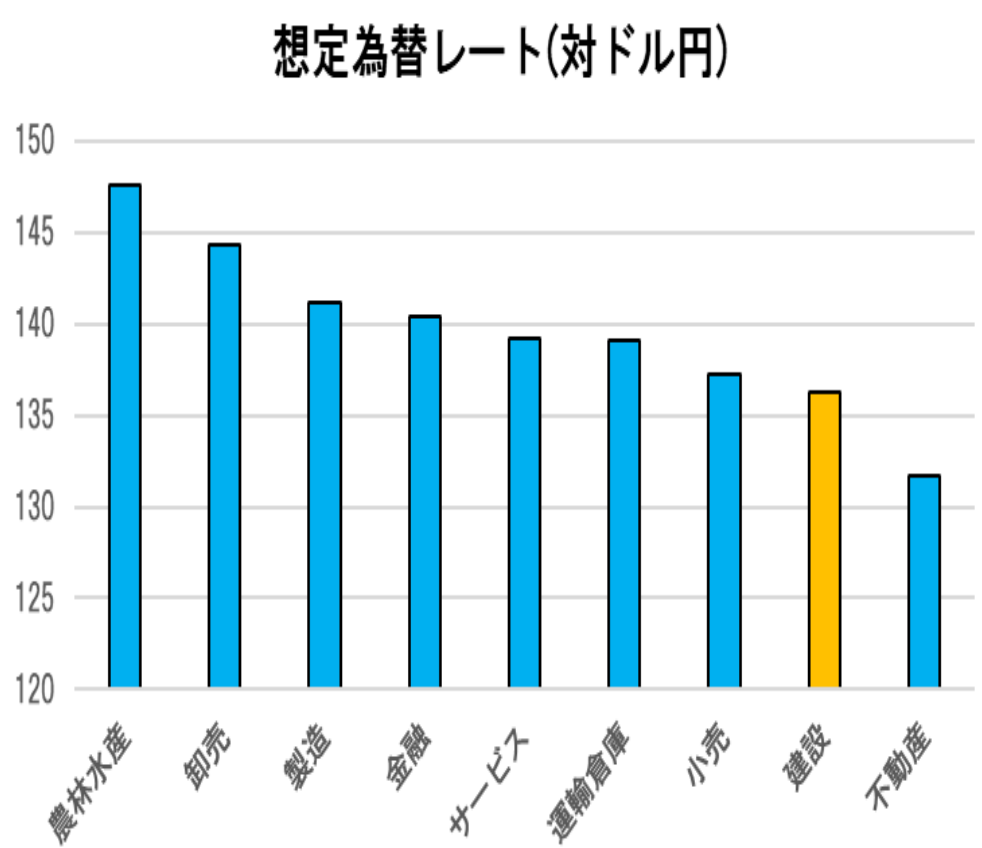
世界競争力ランキング67か国・地域中、日本38位

スイスの国際経営開発研究所「世界競争力ランキング2024」で、日本は38位と昨年からさらに3位順位を落とす結果となった。1位は、シンガポール。このランキングは、各国データと国際的な企業経営者へのアンケート調査で構成されている。日本は、とくに企業の生産性の低さや企業慣行、政府の財政状態等が大きなマイナス要因となった。人口2000万人以上の国・地域に限定すると、台湾1位、米国2位、日本は15位である。



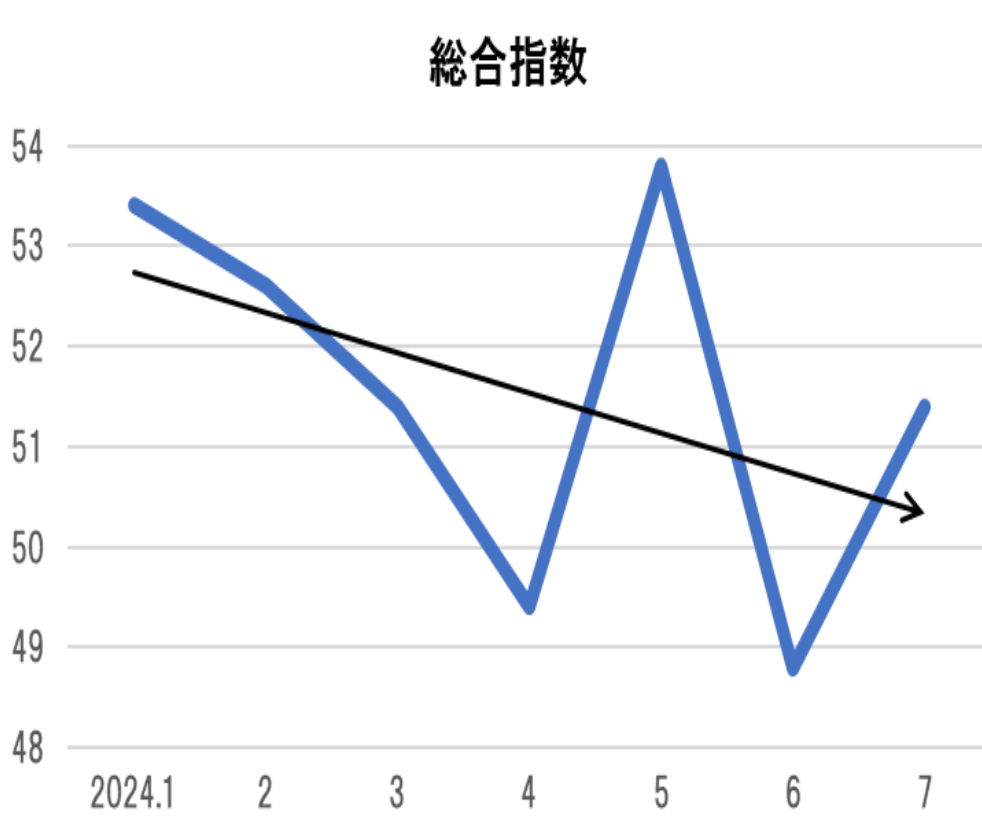
日本企業想定為替レート約141円

帝国データバンク「企業の想定為替レートに関する動向調査(2024年度)」(5月調査)で、日本企業の想定為替レートは約141円となっている。8月以降の円高傾向で実勢為替との円安乖離が小さくなっているため、今後、輸出企業の円安差益が縮小し収益を圧迫する可能性がある。9月にはFRBの金利引下げが見込まれる中で円高圧力が高まれば、一段と円安差益は縮小する。建設、不動産関連では、想定為替レートは130円台である。



米国非製造業業況徐々に低下

米国供給管理協会「非製造業指数」によると活動は月による変動はあるも徐々に勢いを低下させていることが傾向線(矢印)によって示されている。消費者物価も3%レベルに低下しており、雇用統計等も含めて米国経済の徐々の減速が示される結果となった。实体经济の減速リスクと9月のFRBの政策金利引下げ幅がどの程度になるかが次の焦点となっている。その幅によって金融市場、实体经济に与える影響も大きく異なる。



内容に関するお問い合わせ：(株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEftkQ4S87nNC6>